

NPO法人 北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会  
(振込先: 郵便局 02790-6-9847 北海道自由が丘学園をつくる会)

〒062-0051 札幌市豊平区月寒東1条15丁目5-11 TEL(011)858-1711 FAX(011)858-1333

URL <http://www12.plala.or.jp/hokjioka/> 一変更: [www.hokjioka.net](http://www.hokjioka.net) E-mail: [codmokan@agate.plala.or.jp](mailto:codmokan@agate.plala.or.jp)

定価: 250円、年額: 3,000円 (送料込)  
\*会員は会費(支援金)を含む



## INDEX

- P1: 巻頭言/
- P2: ヒューマン・トラスト/  
普及活動、会費納入
- p3: 「NPO 総会・方針」
- p4-5: レポート「目指す教育」  
「子育て新システム」
- p6-7: スクール実践  
農業実習、行事など
- p8: スタッフエッセー、  
スケジュール、他

《写真説明》5/2アウトドア:  
GW週平日、三角山登山。  
天気良く、皆リフレッシュ

## 「新たな改憲の動き」

弁護士 高崎 暢

4月27日、自民党は、「改憲草案」を発表しました。みんなの党、たちあがれ日本も改憲の動きを加速させています。自民党をはじめとする各党は、憲法9条改訂と軍隊の保持だけでなく、天皇元首化や日の丸・君が代の国旗・国歌化などの保守、復古、緊急事態法制導入の動きを強めているのも共通しています。何よりも、憲法は、権力に対する命令規範であるということを全く理解していません。

ご存知の通り、国民投票法案が未完成のまま今日に至っても、国民投票が不能な状況にあることは改憲派も認めざるを得ません。それでも、改憲案を持ち出すのは、改憲ムードを盛り上げ、なし崩し的に改憲論議を軌道に乗せようという思惑があるからです。既成事実を先行させ、9条の変質を許してきたことと同じことを、私たちは許してはならないと思います。

東日本大震災の復興を求め、原発再稼働に反対し、「原発ゼロ」を目指す、こうした国民的運動の広がりや、そして、沖縄の基地撤去の運動は、圧倒的多数の国民が、現憲法の平和的生存権、幸福追求権、そして個人の尊厳が尊重される「人間の復興」の実現を求めているからに他ならないのです。そこには、憲法を「改正」しなければならない要素などみじんもありません。

彼らの改憲論議は陳腐ともいえますが、陳腐だからといって無視しては、彼らの思惑通りになってしまう。彼らの憲法原案を読む学習会を網の目に開催して欲しいと思います。そして、党派を超えての憲法9条擁護の声を上げていくなら、改憲派の思惑と目的を阻止することは可能です。まだ間に合います。(注:筆者は会員のお一人で、弁護士多数を擁する事務所にて「9条の会」を運営しています)